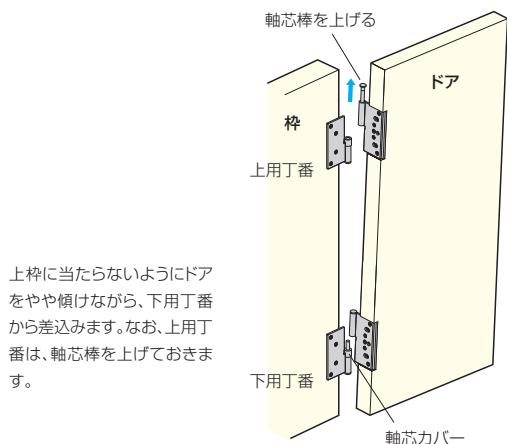


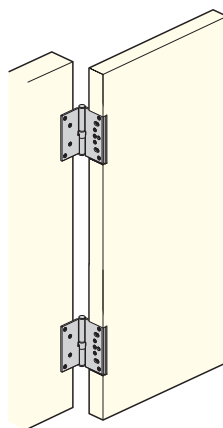
Q8 ケーシング(枠)があっても調整丁番を使用できますか？

A8 お客様が心配されているのは、「調整丁番は枠側のハネにドア側に取付けたハネを上から差込んで吊込むので、ケーシングが邪魔して吊込めないのでは？」ということだと思います。
 このようなケースに対応できる調整丁番として、下記のようなタイプをご用意しています。
3方向調整丁番…軸芯が上にスライドするタイプ。ドアを横から差込んで取付けられます。
調整機構付き丁番N17型6R…軸芯が短いタイプ。吊込むための寸法が20mm前後と少なく済みます。

例：3方向調整丁番



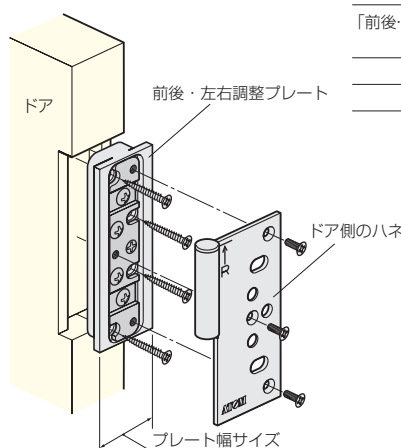
上枠に当たらないようにドアをやや傾けながら、下用丁番から差込みます。なお、上用丁番は、軸芯棒を上げておきます。



次に、ドアをまっすぐに立てて上用丁番の位置合わせをしてから、軸芯棒を下げて上用丁番の結合を行います。最後に建付けと軸芯カバーの調整をして完了です。

Q9 厚さ35mmの室内ドアに3方向調整丁番を使用することを考えています。ドアに掘込み取付する「前後・左右調整プレート」の幅サイズは33mm、36mmがありますが、どのサイズを使えばよいのですか？

A9 ドア厚35mmに幅サイズ36mmのプレートを使用すると前後に0.5mmずつプレートが出っ張りますが、幅サイズ33mmのプレートを使って木部の切り欠き部が見えてしまうよりは綺麗です。幅サイズ36mmのプレートを推奨致します。



「前後・左右調整プレート」の幅サイズ	室内ドアの厚さ
33mm	33mm
36mm	34mm、35mm、36mm

- ドア錠 1
- 丁番 2
- スライド丁番 3
- 開き戸金具 4
- 引戸錠 5
- 引戸金具 6
- 上吊式引戸金具 7
- 移動間仕切金具 8
- 折戸金具 9
- 室内用アルミ建具 10
- 取手・引手 11
- スライドレールワイヤーバスケット 12
- 収納・吊金具 13
- その他の家具金物 14
- 物干金具・諸金具 15
- 真鍮アンティーク 16
- 設計施工ガイド
- 会社案内